

## 『一步踏み出すことで出会えた奇跡』

---

結婚して当たり前前に子どもを授かると思っていたのですが、それが叶わず、治療を何年も続け、私も夫も心身ともに疲弊していました。周りの人が妊娠したり、子ども連れの家族を見ると妬みや悲しみの気持ちしか出てこないようになり、そんな自分自身に嫌悪感をいだくようになりました。

不妊治療中に里親のポスターを見ることはありましたが、血のつながらない子どもを育てることに自信が持てませんでした。しかし、里親の話題を夫にした際に「夫婦だって赤の他人だからね」と夫が何気なく言ったことで「そっか、血のつながりがなくても家族になれる」という考えになりました。

夫婦で話し合い養育里親と養子縁組里親の両方に登録をしました。それは、どのようなお話であれ、その子を受入れよう、その子と家族になる運命なのだと思ったからです。でも実のところ児童相談所で始めて相談した時は、小さな子で、性別はこうでという思いがありました。児童相談所での面談や里親研修の受講を重ねるうちに、だんだん戸籍という肩書へのこだわりが薄れ、子どもの幸せが一番大事と考えるようになりました。

登録後参加したふれあいフォスター事業で中学生のお子さんを受入れたことも、そのことを一層あとおしているように思います。

里親登録が済み、あっという間に1年半が過ぎ、委託の話はまだまだとあきらめかけていたころ、児童相談所から電話がありました。年齢と性別を聞くと直感的にあの時の子でないかなあと思いました。

実は紹介される前に一度会っていたのです。それは里親研修のことです。研修では講義だけでなく児童養護施設や乳児院での実習があります。実習では、たくさん子どもたちと遊んでいたのですが、そこでいっしょに、かくれんぼをしたのがAちゃんだったのです。よくあることではないようで、今から思えば、縁（運命）のようなものを感じます。

紹介された時に「やっぱりAちゃんだ！」と喜びの気持ちが半分、残り半分は不安な気持ちがありました。

当たり前のことですが、顔つきは私にも夫にも似ていません。他の子に比べやんちゃな印象だったので、育児初心者の私が育てられるだろうか、残り半分の不安な気持ちこんなところからでした。しかし何度か、外出や外泊を繰り返すうちに、Aちゃんのかわいさの虜になっていきました。施設への帰り道、車の中で寝顔を見ていると、別れがたい気持ちが大きくなっていきました。

もちろんやんちゃ盛りで大変なことはたくさんあります。慣れてくるとワガママも言うし、「おんぶ」「だっこ」と赤ちゃん返りをしたり、手に負えないぐらい泣いたり怒ったりします。でもそれ以上に、みんなで笑う回数が増え、生活に活気が出てきました。

平凡な日常の中に驚きや発見が増えました。子どもの歯が初めて抜けた日は、子どもの成長を目のあたりにし夫も、私もとても感動しました。些細なことかもしれませんが、子どもの成長を親として一日いちにち見届け、共に喜んでいくことが、こんなに嬉しいこととは思いませんでした。

Aちゃんが我が家に来てすぐに、「パパと同じ髪型にしたい」と夫と同じ坊主頭をリクエストした時には驚きました。何度も「本当に坊主にしているの？」と確認しましたが、「坊主がいい！」というため、夫がバリカンで坊主頭にしました。その坊主頭がびっくりするほどよく似合っていて、かわいいんです。

Aちゃんとの生活が始まってもうすぐ6ヶ月になりますが、私たちの言動をつぶさに見ていて、子どもながら期待に応えようとがんばっている姿を目にします。初めは新しい名字になれるため、一人で何度も名前をつぶやいていました。突然名前を聞かれる場面が多々あるのですが、大きな声で今の名字を言ってくれます。入園式で先生から名前を呼ばれ、大きな声で返事をしてくれた時は、それだけで胸がいっぱいになりました。

名字が変わることに抵抗はあったと思います。「なんで違う名前なの？」と質問された時に「ママも結婚する前は違う名字だったんだよ。パパと家族になったから、今の名字になったんだよ。」と話しました。その後は「ママも違う名前だったんだよねー」と嬉しそうに言うようになりました。

失敗したり、後悔したり、不安になることは毎日のようにありますが、児童相談所の職員の方や家族、友人など、周囲の方たちの協力のお陰でAちゃんとの生活は充実しています。私たちなりにAちゃんの気持ち、言葉にならない思いを汲み取って、できることをマイペースにやろうと考えています。

不妊治療を経験して今の幸せがあるので、夫や子どもに対する感謝の気持ち、命が生まれることの素晴らしさなど人生観は深まったように感じます。今はAちゃんとの奇跡の出会いを大切に、毎日ドタバタですが楽しく過ごしたいと思います。

Aちゃん、生まれてきてくれて、そしてパパとママの所に来てくれて本当にありがとう。